

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第14回 議事録(要旨)

日時：令和5年12月12日(火)
場所：自然学総合研究所

参加者一覧

出席者	大塚 之稔 西條 好迪	日本野鳥の会岐阜 顧問 (一財)自然学総合研究所 理事・顧問
事務局	安江 成弘 高橋 孝直 他3名	恵那土木事務所濃飛横断自動車道建設課 濃飛横断自動車道建設第二係長 恵那土木事務所濃飛横断自動車道建設課 濃飛横断自動車道建設第二係 技術主査 大日コンサルタント株式会社

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	対応
1. 要綱の改正について				
	検討会委員 一同	1	設置要綱の改正を認める。	—
2. 令和5年繁殖期の調査結果について				
	事務局		令和5年の現地調査等の実施状況や、新たに得られた情報を報告した。	—
	検討会委員	2	オオタカの繁殖が成功したと認められる。平成26年度から調査を行っており、オオタカの寿命を考えたとき同じ個体である場合は、つがい個体のどちらかが入れ替わると営巣地が替わる可能性もある。	—
	検討会委員	3	繁殖状況調査では、ビデオ観察を行っていることで定点観察だけではわからない繁殖の様子を知ることができ有効である。	—
3. 今後の調査計画(案)について				
	事務局		今年度と同様に、3月に定点観察で飛来状況を把握し、5月に定点観察・繁殖状況調査、6月に定点観察・繁殖状況調査、7月に定点観察・繁殖状況調査を計画する。	—
	検討会委員	4	3月の調査においても繁殖状況調査を行うとよい。その他の月の調査は計画(案)のとおりでよい。	3月に繁殖状況調査を追加する。
	検討会委員	5	今後営巣地を変えることもあるので、その場合の営巣地特定の参考データ取得のために、定点観察では営巣地が特定できる場合であっても広い範囲を観察するとよい。	いただいた意見を参考に参考に対応する。
	事務局		次年度も、令和6年の調査結果を踏まえ、今後の調査や配慮事項について検討会に諮り意見を伺う。	—